

北海鋼機(株)

豊かな未来づくり

小原 信二
(北海鋼機(株))

北海鋼機(株)は昭和36年に創立以来、関東以北唯一の鉄鋼二次製品の総合メーカーとして発展してきた。現在、資本金は3億円、年間売上高141億円(鋼板関係70%、線材関係20%、その他10%)、従業員約250名である。

当社の主力製品は、大別すると鋼板製品と線材二次製品であり、さらにフラットデッキ、金属サイディング等、建材加工製品や土木事業分野にも進出している。

鋼板関係では、亜鉛鉄板、亜鉛・アルミ合金めっき鋼板を生産し、次工程のカラー鋼板向けを主力に、一部は剪断加工して外販している。また、2コート、2ベークの工程により、耐食性、耐候性、加工性に優れた各種「雪印カラー鋼板」を製造している。北海道は我が国で最も高緯度にあり、低照度の光線があたるため、ダーク調の色彩が合うが、さらに、地域特性に加え都会感覚の洗練された格調高い、つや消の「雪印スーパーモスリー」をはじめ、常に時代のニーズを先取りした新しいカラー鋼板を開発し、北海道の色彩景観の向上に貢献している。

普通線材製品としては、普通鉄線、異形鉄線、亜鉛めっき鉄線、亜鉛・10%アルミ合金めっき鉄線、丸釘、ワイヤーネール等を製造しており、特殊線材製品は、プレストレストコンクリート工法向けのPC鋼棒を生産している。



北海鋼機(株) 全景

近年、河川の多自然型恒久護岸として、かごマット工法が採用されているが、当社は、これに使われる高耐久性鉄線として亜鉛・10%アルミ合金めっき鉄線、厚目付「シュールジंकワイヤー300」の製品化に成功した。これは在来の亜鉛厚めっき鉄線の4~5倍の耐食性を有している。

ポストテンショニング工法向けに開発した「雪印アンボンドPC鋼棒」は従来の製品と異なり、強接着ポリエチレン系樹脂を被覆したものである。JR北海道の軌道スラブやコンクリート枕木等にも採用され高い評価を得ている。



北海鋼業(株)

鉄で地域に貢献、鉄と人を創り出す

西脇 建一
(北海鋼業(株))

当社北海鋼業は、北海道の道央地区小樽に位置し、札幌市に隣接する銭函工業団地内にあり、流通の良い地の利を充分活かし、道内一円を流通地域として活動しています。

このような恵まれた立地条件のもと昭和11年創業以来、鉄と人を創って60年の歴史をきざってきた鉄鋼メーカーであります。当社は道内一円より集荷したスクラップを主原料に、電気炉・連続鋳造機・圧延機等の設備を有した工場で、鉄筋コンクリー

ト用棒鋼を生産し、道内一円に供給しているリサイクル産業でもあります。

道内には同業他社が2社あり、互いに技術交流を重ねながら新しい技術の導入・技術革新に取り組んでいます。

工場はユーザー特約店に対して受注に即応出来る体制をとるため、少量多品種生産を方針に掲げ「必要なものを必要な量だけ必要な時期に」をモットーに日夜生産活動に従事しています。また、電力事情、エネルギーコスト低減のため、変則的な交代勤務を実施しております。

製造プロセスでは平成5年4月より、電気炉の炉底より窒素ガスを耐火物を通して吹き込む「炉底吹き込み法」を導入し、スクラップの溶解促進、合金鉄歩留り向上に寄与しています。

